

「京都文教大学海外出張助成金」交付による海外出張報告書

2010年7月23日提出

申請年度	2010年度（平成22年度）		
所属	臨床心理学科	報告者・職氏名	講師 高橋紀子
海外出張内容 (種別に)	目的 イタリアのローマで開催される 9th International Conference for Person Centered and Experimental Psychotherapy and Counseling に参加し、ポスター発表(単独)を行う。 訪問国・地域 イタリア・ローマ 助成額 235,000 円		・ <input type="checkbox"/> 学会 (発表 <input type="checkbox"/> /無) ・ <input type="checkbox"/> 調査 ・ <input type="checkbox"/> 会議 ・ <input type="checkbox"/> セミナー
期間	2010年6月29日(火) ~ 2010年7月5日(月)		6泊 7日
上記出張期間の研究・調査等活動経過	6月29日・・・13時5分に関西空港よりアリタリア航空AZ793に搭乗。 同日19時ローマ空港に到着。ローマ泊 6月30日・・・9th International Conference for Person Centered and Experimental Psychotherapy and Counseling (以下PCE2010とする)参加 7月1日～3日・・・PCE2010参加 7月4日・・・14時55分にローマ空港よりアリタリア航空AZ792に搭乗 7月5日・・・9時55分に関西空港到着		
研究・調査発表等概要	The relationship between “experience to be supported” and “experience to seek for support” of university transfer students というタイトルで単独のポスター発表を行った。大教室でのオリエンテーション体験と大学各機関の教職員による個別相談との関係について、社会人入学の編入生と短大や専門学校からの編入生を比較検討した。		
研究・調査発表等々の成果の概要	ポスター発表は予定通り行われ、大会参加者とのディスカッションを通じて知見を深めることができた。 当学会への参加が連続3回目、発表が2回目ということもあり、学会誌の編集スタッフの一人として、アブストラクトの翻訳の仕事をするようになった。		
研究・調査等の成果発表予定			